

# 施策評価シート

施策コード	2102	平成26年度 第9次鳥取市総合計画		
施策名	生涯学習の推進	所属名	教育委員会事務局	生涯学習・スポーツ課

## 1. 基本情報

位置づけ 総合計画	体系区分	コード	名称
	まちづくりの目標	20	心豊かにいきいきと 人が輝くまちづくり
	政策	01	個性を活かし、活躍できる環境をつくる

## 2. 施策の概要【PLAN】

現状と課題	<p>○社会の成熟化により、「心の豊かさやゆとりある生活」が重視され、「いつでも どこでも だれでも だれとでも 何でも いつまでも」学習できる環境づくりが求められています。</p> <p>○学習で得た知識・技能などの成果を活かした活動や交流は、地域への愛着や生きがいのある充実した暮らしにつながります。</p> <p>○鳥取市生涯学習センターで開催されている尚徳大学、鳥取市民大学をはじめ各地区公民館や市立図書館などにおいて生涯学習活動が行われています。</p> <p>○生涯学習活動の充実を図るため、放送大学や鳥取大学、鳥取環境大学等と連携し、社会人を対象とした各種講座の充実と受講の促進に取り組むとともに、鳥取県立図書館をはじめ県内の各図書館と連携し、読書環境の充実に取り組んでいます。</p> <p>○今後も多様化、高度化する市民の生涯学習ニーズに対応した学習機会の提供、学習成果を活かした地域活動と市民交流の促進が必要です。</p>
めざす方向	市民が自発的に、生涯にわたって自由に学習機会を選択して学び、学習の成果を活かすことで、自己実現のできる社会をめざします。
達成するための対策・手段	<p>①地域で活躍する人材の育成・支援</p> <p>②生涯学習・成果を活かす機会の充実</p> <p>③生涯学習活動拠点施設の充実</p> <p>④読書活動の推進</p>

## 3. 施策の成果を把握していくための指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
成果指標	1	ボランティア活動や地域の年中行事の実施回数	回	目標	110	125	140	140	140
				実績	153	113	120	119	0
				目標達成率	139%	90%	86%	85%	
		(指標の説明) 生涯学習事業「子どもと大人のふれあい事業」における、ボランティア活動や地域の年中行事実施回数。平成25年度までに全61館で現在より1回以上の増加をめざす。(基準値は平成21年度)							
	2	尚徳大学及び鳥取市民大学の延参加者数	人	目標	7050	7400	7750	8100	8500
				実績	6852	6938	7491	7529	0
				目標達成率	97%	94%	97%	93%	
		(指標の説明) 毎年度、前年度比5%の参加者の増加をめざす。(基準値は平成21年度)							
	3	市民1人あたりの年間図書貸出冊数	冊	目標	4.5	4.6	4.7	4.8	5.1
				実績	4.617	4.484	4.667	4.623	0
目標達成率				103%	97%	99%	96%		
(指標の説明) 年間総図書貸出数/人口。平成27年度の総図書貸出冊数1,000,000冊をめざす。(基準値は平成21年度)									

## 4. 施策を進めるに当たって要する(した)経費【PLAN・DO】

(単位:千円)

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
決算額	405,523	379,037	397,130	392,435	0

## 5. 施策の成果【CHECK】

<p>施策の成果</p> <p>(成果が上がっているか、政策の目標実現に貢献しているか)</p>	<p>これまでの生涯学習に関する様々な取組により、一定の成果が上がり、地区公民館等を中心に多くの地域で生涯学習活動が活発に繰り広げられるようになってきた。このような中、高度情報化、少子高齢化等の進展といった急激な社会変化等に対応するために生涯学習が担うべき役割はますます多岐にわたり、その重要性も増している。このため、今後はこれらの社会変化等に即した形で生涯学習をより一層推進していく必要がある。</p>
--	--

## 6. 今後の施策の方向性【ACTION】

方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡大 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 維持継続 <input type="checkbox"/> 4. 縮小廃止
<p>担当部長評価コメント</p> <p>(部としての施策の方向性)</p> <p>※市民等との協働の推進、行財政改革の推進の視点を踏まえて記載</p>	<p>地区公民館等を中心に生涯学習活動が活発に行われるようになったことは評価できるが、情報化、少子高齢化等の進展により、コミュニティの希薄化等の問題を抱える中、コミュニティを活性化させるツールの一つとして『生涯学習』が担う役割は大きくなり、重要度は増していると考えられる。このため、より一層生涯学習推進体制を強化・充実させていく必要があると考える。</p>

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000839	重点事業区分	リープロ1	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	地区公民館事業		所属名	教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	心豊かにいきいきと 人が輝くまちづくり		事業期間	全期
	政策	01	個性を活かし、活躍できる環境をつくる		根拠法令、根拠計画等	社会教育法
施策	2102	生涯学習の推進				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	ボランティア活動や地域の年中行事の実施回数		153回	140回	運営方法	外部委託
	尚徳大学及び鳥取市民大学の延参加者数		6,852人	8,500人	会計区分	一般会計
	市民1人あたりの年間図書貸出冊数		4冊	5冊		
予算	予算事業名	地区公民館事業費(生涯学習課)		予算事業コード	01-09-04-06-07-01	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市に住む子ども
意図 (どのような状態にするために)	ふるさとを大切に、強い志を持つ子どもに育てる。
手段 (どうするのか)	各地区公民館が取り組む生涯学習事業を通じ、子どもたちのボランティア活動・体験活動の機会を充実、支援することにより、地域で子どもたちを育てる環境整備を図る。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 公民館生涯学習事業「子どもと大人のふれあい事業」のなかで、ボランティア活動や地域の年中行事の実施の促進	平成24年度 公民館生涯学習事業「子どもと大人のふれあい事業」のなかで、ボランティア活動や地域の年中行事の実施の促進	平成25年度 公民館生涯学習事業「子どもと大人のふれあい事業」のなかで、ボランティア活動や地域の年中行事の実施の促進	平成26年度 公民館生涯学習委託事業のなかで、子どものボランティア活動や子どもたちが地域の年中行事を体験する活動を促進	平成27年度 公民館生涯学習委託事業のなかで、子どものボランティア活動や子どもたちが地域の年中行事を体験する活動を促進	
	年度別実績	子どもと大人のふれあい事業 鳥取地域 625件 31,748人 新市域 343件 13,792人	子どもと大人のふれあい事業 鳥取地域 585件 26,530人 新市域 352件 13,874人	子どもと大人のふれあい事業 鳥取地域 539件 25,706人 新市域 340件 15,340人	子どもと大人のふれあい事業 鳥取地域 520件 26,664人 新市域 301件 12,022人		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	22,630	22,621	23,111	22,618	0	
	直接経費 A	21,131	21,136	21,654	21,114	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	21,131	21,136	21,654	21,114	0
人件費 B	1,499	1,485	1,457	1,504	0		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.20	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	ボランティア活動や地域の年中行事の実施回数	単位	回	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
			目標	110	125	140	170	200		
	実績	968	937	879	821	0				
(指標の説明) H25年度目標値に、全地区公民館で1回以上の増加をめざし、実施した回数										
2	目標	0	0	0	0	0				
	実績	0	0	0	0	0				
(指標の説明)										
3	目標	0	0	0	0	0				
	実績	0	0	0	0	0				
(指標の説明)										

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】生涯学習係 0857-20-3362			
	【9次総の施策体系】2102			
	【予算計上の経過】			
	予算事業別概要目次			
	当初予算・P253(教052)			
	【事業の概要】			
	1. 委託先：鳥取市公民館連合会			
	2. 地区公民館62館(内分館1館)で事業を実施。事業費の配分は、基本的に各地区公民館の裁量により設定できる。			
	【事業の成果】			
	(1) 子どもと大人のふれあい事業			
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
事業開催数(延)	937件	879件	821件	
参加人数(延)	40,404人	41,046人	38,686人	
(2) 特色ある公民館活動事業				
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
事業開催数(延)	750件	496件	1,583件	
参加人数(延)	29,390人	22,606人	20,256人	
(3) 地域の仲間作り事業				
		平成25年度	平成26年度	
		689件	689件	
		17,390人	17,583人	
(4) 人権啓発推進事業				
	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
事業開催数(延)	511件	194件	197件	
参加人数(延)	13,849人	7,368人	8,015人	
【今後の課題・方向性】				
今後、過疎化・人口減少がさらに進む社会においては、人とのつながりがより重要なものとなるため、各地区公民館がそれぞれの事業の目的に合わせて、地域の人が集い、学び合い、交流し合う機会を充実させる。				

6. 活動指標の達成率【CHECK】

指標名		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1 ボランティア活動や地域の年中行事の実施回数	880%	750%	628%	483%	
	2					
	3					

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	各事業に明確な目標が設定されている
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 有効である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	地方創生・地域活性化のためには、地域の実情をよく知る公民館が行う事業は有効である
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input type="checkbox"/> 1. 効率的である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	各公民館・関係各課との連携を図ることにより、より事業の効率的なものとなる
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	各事業の実施に当たり、対象が適したものとなっている

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小
	<input type="checkbox"/> 2. 改善継続	<input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加	<input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少
	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持	<input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善	<input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止
	<input type="checkbox"/> 4. 縮小	<input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化	<input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止
	<input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント	今後も、各地区公民館で積極的に生涯学習事業を計画し取り組んでもらい、地域の生涯学習の拠点、地域活性化の拠点として充実を図りたい。		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000844	重点事業区分	—	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	公民館祭開催事業		所属名	企画推進部 協働推進課

## 1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	心豊かにいきいきと 人が輝くまちづくり		事業期間	昭和57年度 ~ 全期
	政策	01	個性を活かし、活躍できる環境をつくる		根拠法令、 根拠計画等	
施策	2102	生涯学習の推進				
目標の 目	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	ボランティア活動や地域の年中行事の実施回数		153回	140回	運営方法	その他
	尚徳大学及び鳥取市民大学の延参加者数		6,852人	8,500人	会計区分	一般会計
	市民1人あたりの年間図書貸出冊数		4冊	5冊		
予算	予算事業名	公民館祭開催費(協働推進課)		予算事業コード	01-09-04-06-19-01	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民
意図 (どのような状態 にするために)	市内61地区公民館及び1分館を拠点として活動している市民が、丹精込めて制作した作品の数々や練習を重ねた様々な分野の芸能などについて、1年間の成果を発表する場として開催し、公民館活動の活性化と生き生きとした地域づくりの推進を図る。
手段 (どうするのか)	鳥取市公民館連合会が主体となって事業の企画実施を行う。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	年度別実績	参加者 1627人	参加者 1388人	参加者 1456人	参加者1289人	

  

事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	575	575	575	575	575	
	直接経費 A	575	575	575	575	575	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	575	575	575	575	575
人件費 B	0	0	0	0	0		

  

職員数の内訳	正規職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
				1	開催期間中の入場者	人	目標 1586 実績 1627	1632 1388
2	(指標の説明) 開催期間中の入場者数	目標	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	
3	(指標の説明)	目標	0	0	0	0	0	
		実績	0	0	0	0	0	

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	【問合せ先】 地区公民館係 0857-20-3172					
	【9次総合の施策体系】 2102					
	【予算計上の経過】 なし					
	【事業の概要】					
	市内61地区公民館を拠点として活動する市民が、1年間の成果を発表する場として毎年「鳥取市公民館まつり」を実施。平成26年度で33回目を迎える					
	地区公民館で活動している市民が丹精込めて制作した作品の数々や、練習を重ねた様々な分野の芸能を来訪者に観賞してもらうことで、公民館活動について理解を深めてもらうとともに、出品者の創作的意欲、発表者の練習意欲をいっそう向上させ、公民館活動の活性化と生き生きとした地域づくりの推進を図る。					
	【事業の成果】					
	1. 委託先 鳥取市公民館まつり実行委員会（事務局：鳥取市公民館連合会）					
	2. 事業内容					
	・ 作品展示会（61地区公民館で1年間に制作した作品を展示する。）					
・ 芸能発表会（61地区公民館で学習した伝承芸能、踊り等学習成果の発表を行う。）						
実績						
〔作品展示会〕						
	参加者数	平成22年度 1540人	平成23年度 1627人	平成24年度 1388人	平成25年度 1456人	平成26年度 1289人
	出品点数	1852点	1955点	2354点	2369点	2141人
〔芸能発表会〕						
	出演者数	平成22年度 202人	平成23年度 229人	平成24年度 209人	平成25年度 646人	平成26年度 145人
	入場者数	609人	760人	603人	536人	
【今後の課題・方向性】						
公民館を拠点として活動する市民が、1年間の成果を発表する場として、毎年度実施する。						

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	開催期間中の入場者	103%	85%	104%	92%	
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	地区公民館活動の成果について市民に対し発表する場を年1回設定するものであり、今後の公民館活動の活性化や発展を図ることができる。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	幅広く市民への公民館活動に対する周知と理解を得ることができるとともに、他地区の活動を知ることにより自らの公民館活動の参考にし、今後の発展に期待できる。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	地区公民館職員で構成する鳥取市公民館連合会に委託して実施しており、職員自ら創意工夫しながら企画運営実施することで、職員の公民館活動に対する認識や資質の向上が図られる。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	市民参加は、無料で自由でできるものであり、公平に行われている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小
	<input type="checkbox"/> 2. 改善継続	<input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加	<input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少
	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持	<input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善	<input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止
	<input type="checkbox"/> 4. 縮小	<input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化	<input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止
	<input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
担当課長の評価コメント	地区公民館を拠点として活動する市民が、1年間の成果を発表する場として、毎年度実施する。		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000820	重点事業区分	—	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	市民大学等開催事業(高齢者生きがい促進)		所属名	教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	心豊かにいきいきと 人が輝くまちづくり		事業期間	全期
	政策	01	個性を活かし、活躍できる環境をつくる		根拠法令、根拠計画等	
施策	2102	生涯学習の推進				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	ボランティア活動や地域の年中行事の実施回数		153回	140回	運営方法	直営
	尚徳大学及び鳥取市民大学の延参加者数		6,852人	8,500人	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	高齢者生きがい促進総合事業費		予算事業コード	01-09-04-01-15-01	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民
意図 (どのような状態にするために)	市民が学習しようと思ったとき「いつでも、どこでも、だれでも、だれとでも、何でも、いつまでも」学習できるような環境をつくるとともに、学習成果を地域に還元できるようにする。
手段 (どうするのか)	社会の動向や生涯各期の学習ニーズに対応した学習機会を充実させる。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 尚徳大学の開催 高齢者人材活用事業	平成24年度 尚徳大学の開催 高齢者人材活用事業	平成25年度 尚徳大学の開催 高齢者人材活用事業	平成26年度 尚徳大学の開催 高齢者人材活用事業	平成27年度 尚徳大学の開催 高齢者人材活用事業	
	年度別実績	尚徳大学 講座開催回数102回 延参加人数6,294人 高齢者人材活用事業 事業回数 3回 延参加者数80人	尚徳大学 講座開催回数114回 延参加人数6,186人 高齢者人材活用事業 事業回数 2回 延参加者数 165人	尚徳大学 講座開催回数114回 延参加人数6,765人 高齢者人材活用事業 事業回数 4回 延参加者数 218人	尚徳大学 講座開催回数126回 延参加人数6,692人 高齢者人材活用事業 事業回数 2回 延参加者数 90人		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	5,920	6,014	5,941	6,369	0	
	直接経費 A	1,422	1,558	1,570	1,856	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	520	532	590	851	0
一般財源	902	1,026	980	1,005	0		
人件費 B	4,498	4,456	4,371	4,513	0		
職員数の内訳	正規職員	0.60	0.60	0.60	0.60	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		尚徳大学受講者の満足度	%	目標	0	0	0	85	90
	実績	79	79	76	73	0			
(指標の説明) 受講者アンケート調査で中程度の評価より高い回答をした受講者の割合									
2	目標	0	0	0	0	0			
	実績	0	0	0	0	0			
(指標の説明)									
3	目標	0	0	0	0	0			
	実績	0	0	0	0	0			
(指標の説明)									

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生涯学習係 0857-20-3362</p> <p>【9次総の施策体系】2102</p> <p>【予算計上の経過】</p> <p>予算事業別概要書目次 当初予算・P250(教045)</p> <p>【事業の概要】</p> <p>1. 尚徳大学 昭和48年度から高齢者教室として健康、家庭、社会、余暇を考えるを4本の柱に定め事業をスタートした。その後、事業の内容を見直し定員規模の拡大を図り、名称も尚徳大学と改め、高齢者の総合的な学習活動の機会の場として開設している。 現在は、合同学習(共通)及び8つの専門コース(社会・書道・絵画・民芸・健康・郷土・彫刻・文芸)で学習を行っている。</p> <p>2. 高齢者人材活用事業 優れた知識、技能を有する高齢者を募り、講師あるいは助言者として、各地域で開催される講演会等に参加・派遣を行う。</p> <p>【事業の成果】</p> <p>1. 尚徳大学</p> <table border="0"> <tr> <td>・講座開催回数</td> <td>126回</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・延べ出席者数</td> <td>平成24年度</td> <td>平成25年度</td> <td>平成26年度</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>6,186人</td> <td>6,765人</td> <td>6,692人</td> <td></td> </tr> </table> <p>2. 高齢者人材活用事業</p> <table border="0"> <tr> <td>・登録者数</td> <td>55人</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・講演会等延べ参加者数</td> <td>平成24年度</td> <td>平成25年度</td> <td>平成26年度</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>165人</td> <td>218人</td> <td>90人</td> <td></td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】</p> <p>高齢者層の増加に伴って本事業の役割も増大していくと考えられる。尚徳大学は、多種多様な学習ニーズや社会情勢に対応した学習機会づくりを今後検討していく。高齢者人材活用事業は、事業の見直しや広報の強化により更なる事業の活性化を図る。 ※その他財源の諸収入は、尚徳大学受講料等。</p>	・講座開催回数	126回				・延べ出席者数	平成24年度	平成25年度	平成26年度			6,186人	6,765人	6,692人		・登録者数	55人				・講演会等延べ参加者数	平成24年度	平成25年度	平成26年度			165人	218人	90人	
・講座開催回数	126回																														
・延べ出席者数	平成24年度	平成25年度	平成26年度																												
	6,186人	6,765人	6,692人																												
・登録者数	55人																														
・講演会等延べ参加者数	平成24年度	平成25年度	平成26年度																												
	165人	218人	90人																												

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	尚徳大学受講者の満足度				86%	
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	既に超高齢社会を迎えた現状において、地域社会の基盤となる高齢者を対象として学習機会と生きがいを提供する事業として妥当である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	学習を通じた生きがいづくりを行う唯一の事業であり、多数の受講応募と高い参加率により効果的に学習機会が提供されている。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	参加者との協同による事業運営を行って効率化を図り、少ないコストで多くの市民の学習ニーズに応えている。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	学習を希望する方すべてを受け入れて学習機会を提供するとともに、事業費を一部負担していただいている。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<b>担当課長の評価コメント</b> <small>現代社会における高齢者が担う役割が日々増大していることを鑑み、文化的に豊かで社会参加を積極的に行う高齢者層の形成を視野に入れた学習機会を提供する。また、事業運営手法を見直して効果的な運営を図る。</small>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000821	重点事業区分	—	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	市民大学等開催事業(市民大学)		所属名	教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	心豊かにいきいきと 人が輝くまちづくり		事業期間	全期
	政策	01	個性を活かし、活躍できる環境をつくる		根拠法令、根拠計画等	
施策	2102	生涯学習の推進				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	ボランティア活動や地域の年中行事の実施回数		153回	140回	運営方法	直営
	尚徳大学及び鳥取市民大学の延参加者数		6,852人	8,500人	会計区分	一般会計
	市民1人あたりの年間図書貸出冊数		4冊	5冊		
予算	予算事業名	市民大学開設費		予算事業コード	01-09-04-01-16-01	

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民
意図 (どのような状態にするために)	市民が学習しようと思ったとき「いつでも、どこでも、だれでも、だれとでも、何でも、いつまでも」学習できるような環境をつくるとともに、学習成果を地域に還元できるようにする。
手段 (どうするのか)	社会の動向や生涯各期の学習ニーズに対応した学習機会を充実させる。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 市民大学の開催	平成24年度 市民大学の開催	平成25年度 市民大学の開催	平成26年度 市民大学の開催	平成27年度 市民大学の開催	
	年度別実績	市民大学 講座開催数28回 延参加者数558人	市民大学 講座開催数30回 延参加者数752人	市民大学 講座開催数30回 延参加者数726人	市民大学 講座開催数30回 延参加者数837人		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	2,558	2,455	2,447	2,510	0	
	直接経費 A	309	227	261	253	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	309	227	261	253	0
人件費 B	2,249	2,228	2,186	2,257	0		
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.30	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	市民大学受講者の満足度	単位	%	区分	目標	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		実績			0	0	0	85	90				
	(指標の説明) 受講者アンケート調査で中程度の評価より高い回答をした受講者の割合												
	2	目標		0	0	0	0	0					
		実績		0	0	0	0	0					
	(指標の説明)												
3	目標		0	0	0	0	0						
	実績		0	0	0	0	0						
(指標の説明)													



5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】生涯学習係 0857-20-3362</p> <p>【9次総の施策体系】2102</p> <p>【予算計上の経過】</p> <p>予算事業別概要目次 当初予算・P250(教046)</p> <p>【事業の概要】</p> <p>昭和26年に一般市民を対象に成人学級を夜間に開設する。昭和47年度には鳥取市民教養講座として1科目50人定員で学級をもった。昭和48年度には明るい家庭、住みよい街づくりの推進を図り会場を福祉文化会館としてその内容も更に拡大し、1科目30人、学習時間10時間の講座となった。</p> <p>昭和57年から市民大学講座と改称し、郷土の歴史などを中心に昼と夜に分けて学習することになった。現在は鳥取地域及び合併地域に在住、または勤務する成人を対象とし、一般的な教養、地域に伝わる歴史、専門的な知識の学習を行っている。</p> <p>【事業の成果】</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 30%; text-align: center;">平成24年度</td> <td style="width: 30%; text-align: center;">平成25年度</td> <td style="width: 30%; text-align: center;">平成26年度</td> </tr> <tr> <td>・山陰海岸ジオパーク講座</td> <td style="text-align: center;">年5回(前期)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・国際理解講座</td> <td style="text-align: center;">年6回(前期)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・市民健康講座</td> <td style="text-align: center;">年5回(前期)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・郷土の歴史講座</td> <td style="text-align: center;">年5回(後期)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・全国障がい者芸術・文化祭とっとり大会学習講座</td> <td style="text-align: center;">年3回(後期)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・社会講座</td> <td style="text-align: center;">年6回(後期)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>参加者数(延)</td> <td style="text-align: center;">752人</td> <td style="text-align: center;">726人</td> <td style="text-align: center;">837人</td> </tr> </table> <p>【今後の課題・方向性】</p> <p>参加者が定員を下回っていること、そして、60歳以上の年齢層の出席が多数を占めることから、より幅広い世代の参加者を増やすため、チラシ・ポスター等の広報を強化する。高齢者生きがい促進事業と重複しない内容、または重層的な内容など他の事業と内容調整を図り事業を実施する。</p>		平成24年度	平成25年度	平成26年度	・山陰海岸ジオパーク講座	年5回(前期)			・国際理解講座	年6回(前期)			・市民健康講座	年5回(前期)			・郷土の歴史講座	年5回(後期)			・全国障がい者芸術・文化祭とっとり大会学習講座	年3回(後期)			・社会講座	年6回(後期)			参加者数(延)	752人	726人	837人
	平成24年度	平成25年度	平成26年度																														
・山陰海岸ジオパーク講座	年5回(前期)																																
・国際理解講座	年6回(前期)																																
・市民健康講座	年5回(前期)																																
・郷土の歴史講座	年5回(後期)																																
・全国障がい者芸術・文化祭とっとり大会学習講座	年3回(後期)																																
・社会講座	年6回(後期)																																
参加者数(延)	752人	726人	837人																														

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	市民大学受講者の満足度				106%	
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	社会教育の一環として広く市民が学習できる機会を設けるという目的において妥当である。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	勤労世代など学校教育を終えた市民が能動的に学習する機会として、市が提供する唯一の事業であり、有効である。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	低いコストで多様な学習機会を提供しており、参加者満足度の高さからみても効率的に行われている。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input type="checkbox"/> 1. 公平である <input checked="" type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	参加機会は市民に対して公平に開かれていながらも、参加者の年齢層に偏りがみられる点に改善の必要がある。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント	成人を対象とした社会教育事業の中核として、市民の学習ニーズに応えるとともに社会の要請に応じた学習内容を検討していく。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000853	重点事業区分	—	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	図書館情報管理システム処理事業		所属名	教育委員会事務局 中央図書館

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	心豊かにいきいきと 人が輝くまちづくり		事業期間	平成23年度 ~ 全期
	政策	01	個性を活かし、活躍できる環境をつくる		根拠法令、根拠計画等	図書館法、鳥取市立図書館の設置及び管理に関する条例
施策	2102	生涯学習の推進				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	建設、整備
	ボランティア活動や地域の年中行事の実施回数		153回	140回	運営方法	直営
	高徳大学及び鳥取市民大学の延参加者数		6,852人	8,500人	会計区分	一般会計
市民1人あたりの年間図書貸出冊数		4冊	5冊			
予算	予算事業名	図書館情報管理システム処理費			予算事業コード	01-09-04-09-06-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	図書館3館、中央公民館図書室6室及び市立病院図書室の利用者情報、所蔵資料に関する情報、予約・貸出状況等の管理
意図 (どのような状態にするために)	図書館利用者情報などを適正に管理することで、市民に迅速、正確、公平な図書館サービスを提供し、利便性・効率性・経済性の向上を図る。
手段 (どうするのか)	平成24年度に更新した図書館情報管理システムを適正に運用し、利用者情報、所蔵資料情報等の管理を行い、利用者自身がインターネットから本の予約、予約状況の確認、貸出の延長などを行えるようにするとともに、予約した本が正確・迅速に利用者に貸出せるようにする。また、本の自動貸出機、自動返却機の運用により、利用者の利便性の向上を図る。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 H24年度11月の全面改修に向けて、システムの検証と構築を検討する。	平成24年度 新システムを導入して、利用の拡充拡大を図る。	平成25年度 新システムの効果的な運用により、利用者の利便性の向上と業務の効率化を図る。	平成26年度 新システムの効果的な運用により、利用者の利便性の向上と業務の効率化を図る。	平成27年度 システムの効果的な運用により、利用者の利便性の向上と業務の効率化を図る。	
	年度別実績	H24年度2月の全面改修に向けて、システムの検証と構築を検討する。公募型プロポーザル方式により調達することとする。	公募型プロポーザル方式により新システムを構築し、経費を抑えながらより高機能のシステムに更新し、利便性の強化を図った。	新システムの効果的な運用により、利用者の利便性の向上と業務の効率化を図った。	26年7月から市立病院図書室の図書館情報システムを当館のシステム内に構築し、より効果的な運用を行ったことで、利用者の利便性の向上と業務の効率化を図った。		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	12,509	13,607	31,732	32,551	0	
	直接経費 A	8,760	9,894	28,089	28,790	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	65	0
		一般財源	8,760	9,894	28,089	28,725	0
人件費 B	3,749	3,713	3,643	3,761	0		
職員数の内訳	正規職員	0.50	0.50	0.50	0.50	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	セルフ利用率の拡大	%	指標	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
				実績	0	0	40	42	46
	(指標の説明) 情報管理システム処理件数(貸出返却セルフ利用冊数/総貸出返却処理冊数)								
2	個人貸出冊数	冊	指標	0	0	900000	910000	905000	
			実績	0	0	899132	886471	0	
(指標の説明) 図書館情報管理システムによる本の個人貸出冊数									
3			指標	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)									

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】中央図書館 0857-27-5182</p> <p>【9次総の施策体系】2102</p> <p>【予算計上の経過】        予算事業別概要目次        当初予算・P270(教085)</p> <p>【事業の概要】        平成24年度に図書館情報システムを更新し、図書館3館及び中央公民館図書室6室、26年7月からは市立中央病院図書室を新たに加え一体的に運用。        (予算内容) ①貸貸借料 ②電算関係消耗品費 ③インターネット回線使用料        ③機器及びソフトの保守業務 ④図書データ作成委託費</p> <p>【事業の成果】        ①市民の図書館利用の利便性向上(一元管理)        ②図書、利用者、貸出管理及び図書購入整備の効率性向上        ③地域間格差の是正        ④利用者によるインターネットでの検索、予約受付、貸出延長などのサービス提供</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>24年度</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>蔵書冊数</td> <td>593,385冊</td> <td>614,625冊</td> <td>623,816冊</td> </tr> <tr> <td>登録者数</td> <td>54,687人</td> <td>56,731人</td> <td>59,851人</td> </tr> <tr> <td>個人貸出</td> <td>868,001冊</td> <td>899,132冊</td> <td>886,468冊</td> </tr> <tr> <td>団体貸出</td> <td>96,435冊</td> <td>123,080冊</td> <td>99,067冊</td> </tr> <tr> <td>予約受付</td> <td>120,462件</td> <td>134,620件</td> <td>136,548件</td> </tr> <tr> <td>中央入館者数</td> <td>414,448人</td> <td>426,459人</td> <td>404,819人</td> </tr> <tr> <td>決算額</td> <td>9,894千円</td> <td>28,089千円</td> <td>28,790千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>【今後の課題・方向性】        保守の範囲でバージョンアップを行い、一層の利便性の向上や効率化を図ることで時間を創出し、相談業務などの利用者とのコミュニケーションの強化を図る。</p> <p style="text-align: center;">※その他財源の諸収入は、図書館情報管理システム実費負担金。</p>		24年度	25年度	26年度	蔵書冊数	593,385冊	614,625冊	623,816冊	登録者数	54,687人	56,731人	59,851人	個人貸出	868,001冊	899,132冊	886,468冊	団体貸出	96,435冊	123,080冊	99,067冊	予約受付	120,462件	134,620件	136,548件	中央入館者数	414,448人	426,459人	404,819人	決算額	9,894千円	28,089千円	28,790千円
	24年度	25年度	26年度																														
蔵書冊数	593,385冊	614,625冊	623,816冊																														
登録者数	54,687人	56,731人	59,851人																														
個人貸出	868,001冊	899,132冊	886,468冊																														
団体貸出	96,435冊	123,080冊	99,067冊																														
予約受付	120,462件	134,620件	136,548件																														
中央入館者数	414,448人	426,459人	404,819人																														
決算額	9,894千円	28,089千円	28,790千円																														

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	セルフ利用率の拡大			113%	108%	
	2	個人貸出冊数			100%	97%	
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か            ・対象と意図は現行でよいか            ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	図書館情報管理システムは多くの個人情報を取扱うとともに、中央公民館図書室、市立病院図書室と一体的な運用を行うことにより、地域間格差を解消しているため。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか            ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	図書館情報システムは、現代の図書館管理運営に欠かせないものであり、資料管理、利用者管理等に大いに効率化が図られているため。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か            ・高い費用対効果が得られているか            ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	資料の登録管理、利用者の管理、貸出等の利用管理において大いに効率化が図られており、費用対効果は高い。また、保守料の範囲でバージョンアップを行う契約であり、常に改善する最新の環境で運用できている。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か            ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	図書館情報システムと併せて搬送サービス網によって資料を届ける仕組みがあるため、どの図書館、図書室からでも同様のサービスを受けることができ、地域間格差の解消につながっているため。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<b>担当課長の評価コメント</b> <small>平成24年度に更新した図書館情報システムは常に進化しており、利用者にも職員にも利便性が高い。自動貸出機、自動返却機の利用促進はもとより、予約連絡が電話になっている利用者をメール連絡にシフトすることで、効率化を図り、レファレンス(相談業務)を充実させていく。</small>		

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000852	重点事業区分	—	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	地域社会教育活動総合事業		所属名	教育委員会事務局 中央図書館

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	心豊かにいきいきと 人が輝くまちづくり		事業期間	平成23年度 ~ 全期
	政策	01	個性を活かし、活躍できる環境をつくる		根拠法令、根拠計画等	図書館法、鳥取市立図書館の設置及び管理に関する条例
	施策	2102	生涯学習の推進			
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	ボランティア活動や地域の年中行事の実施回数		153回	140回	運営方法	直営
	尚徳大学及び鳥取市民大学の延参加者数		6,852人	8,500人	会計区分	一般会計
	市民1人あたりの年間図書貸出冊数		4冊	5冊		
予算	予算事業名	地域社会教育活動総合事業費			予算事業コード	01-09-04-09-05-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	子どもから大人までの市民等及び読み聞かせ等のボランティア
意図 (どのような状態にするために)	本に親しむ機会を得ることにより、幼い時期から読書の習慣を身につけ、自ら考え、行動するために、必要な知識や情報を得て、自己実現を図るとともに、生涯にわたって心豊かな暮らしを送るため。また、地域文化の発展に寄与するため。
手段 (どうするのか)	子どもの読書活動を推進するため、ブックスタート事業の協力、「お話し会」等の事業の実施をするとともに、絵本の読み聞かせ等ボランティア養成講座の実施。 また、一般向け講座の実施。事業の展開にあたっては、広報媒体を活用して積極的な周知を図る。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 お話し会等を中心とした生涯学習活動とボランティアなどの社会貢献を促進する。	平成24年度 お話し会等を中心とした生涯学習活動とボランティアなどの社会貢献を促進する。	平成25年度 お話し会や各種講座を中心とした生涯学習活動とボランティアなどの社会貢献を促進する。高齢者向けの講座「音読教室」を新たに実施するとともに中学生向けのブックリスト作成と公開を行う。	平成26年度 お話し会や各種講座を中心とした生涯学習活動とボランティアなどの社会貢献を促進する。高齢者向けの講座「音読教室」を実施するとともに、中学生向けのブックリスト作成と公開を行う。	平成27年度 お話し会や各種講座を中心とした生涯学習活動とボランティアなどの社会貢献を促進する。高齢者向けの講座「音読教室」を実施するとともに、読書通帳を活用して読書の推進を図る。	
	年度別実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>おはなし会</li> <li>読み聞かせボランティア養成講座</li> <li>ブックスタート支援</li> <li>講座、講演会</li> <li>本のリサイクル市</li> <li>視聴覚支援資料整備</li> <li>ボランティアの受入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>おはなし会</li> <li>読み聞かせボランティア養成講座</li> <li>ブックスタート支援</li> <li>講座、講演会</li> <li>本のリサイクル市</li> <li>視聴覚支援資料整備</li> <li>ボランティアの受入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>おはなし会</li> <li>読み聞かせボランティア養成講座</li> <li>ブックスタート支援</li> <li>その他講座、講演会</li> <li>本のリサイクル市</li> <li>ボランティアの受入などを通じて読書活動の推進を図った</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>おはなし会・読み聞かせボランティア養成講座・ブックスタート支援・その他講座、講演会・読書通帳の配布</li> <li>本のリサイクル市・ボランティアの受入などを通じて読書活動の推進を図った</li> </ul>		
	事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)
事業費	事業費(A+B)	21,134	22,150	21,199	21,430	0	
	直接経費 A	1,013	1,595	839	830	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	1,013	1,595	839	830	0		
人件費 B	20,121	20,555	20,360	20,600	0		
職員数の内訳	正規職員	2.00	2.00	2.00	2.00	0.00	
	嘱託職員	3.00	3.00	3.00	3.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		おはなし会、各種講座への参加者数	人	目標	0	0	4500	4550	4800	
			実績	0	0	4866	4780	0		
	(指標の説明) おはなし会、読み聞かせボランティア養成講座等への参加者数									
	2	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
		受講修了者(7割以上出席者)のボランティア活動実施率	%	目標	0	0	50	69	80	
		実績	0	0	68	89.7	0			
(指標の説明) 受講修了者(7割以上出席者)のボランティア活動実施率(実施予定含む)										
3	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度		
			目標	0	0	0	0	0		
		実績	0	0	0	0	0			
(指標の説明)										

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 中央図書館 0857-27-5182</p> <p>【9次総の施策体系】 2102</p> <p>【予算計上の経過】          予算事業別概要目次          当初予算・P 2 6 9 (教 0 8 4)</p> <p>【事業の概要】          「子どもの読書活動の推進に関する法律」「文字・活字文化振興法」「鳥取市子どもの読書活動推進計画」などを踏まえ、おはなし会、絵本読み聞かせボランティア養成講座など各種事業を実施し読書活動を推進する。</p> <p>【事業の成果】          ①各種事業の開催により、子どもから大人まで多くの市民が図書館に来館し、身近に感じることで、図書館の利用促進を図るとともに、読み聞かせ、読書の推進を図った。          ②読み聞かせボランティア養成講座の開催により、講座に7割以上参加した人の内、90%がボランティア活動の実践につなげることができた。          ③読書通帳を配布したことで、市民が読書に興味を持つとともに、読書意欲の高揚を図った。          平成24年度 1,595千円 (市立図書館開館30周年記念事業実施)          平成25年度 839千円 (気高図書館開館10周年記念事業実施)          平成26年度 830千円 (用瀬図書館開館25周年記念事業実施)</p> <p>【今後の課題・方向性】          幼いころから読書習慣を身につけるとともに、図書館を利用しない市民をいかに引き付け、読書活動へとつなげていくかが課題。そのために、事業の効果を検証し、市民ニーズを取り入れながら、必要な事業を企画していく。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	おはなし会、各種講座への参加者数			108%	105%	
	2	受講修了者(7割以上出席者)のボランティア活動実施率			136%	130%	
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か            ・対象と意図は現行でよいか            ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	子どもの読書活動の推進を図るとともに、幼児から高齢者まで知識や教養を習得し、もって地域文化の発展に、生涯学習施設として寄与する使命があるため。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか            ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	事業の実績として、目標としていた参加人数を上回っているとともに、事業後のアンケートでも満足度が高いため。また、読み聞かせボランティア受講者が実践に結びついているため。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か            ・高い費用対効果が得られているか            ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	現代的な課題も考慮しながら各種講座、講演会などを開催しており、地元の人材(ボランティア)を活用するなどしているため。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か            ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	市立図書館3館が地域性を出しながら、各種講座、おはなし会等を実施している。幼児から高齢者まで幅広い世代を対象とした事業を展開している。広報についても、市報をはじめケーブルテレビなども活用し広く取り組んでいる。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<b>担当課長の評価コメント</b>	豊かな市民生活を送るためには、様々な知識や情報を容易に入手し、課題を自ら解決し、生涯にわたって学んでいくことが必要です。学ぼう場として、図書館を最大限活用していただくため、様々なテーマで学習の機会を提供するとともに、読書活動につながるきっかけづくりを工夫する必要があります。	

# 事務事業評価シート

事務事業コード	000854	重点事業区分	—	平成26年度 第9次鳥取市総合計画
事務事業名	図書購入事業		所属名	教育委員会事務局 中央図書館

## 1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	20	心豊かにいきいきと 人が輝くまちづくり		事業期間	平成23年度 ~ 全期
	政策	01	個性を活かし、活躍できる環境をつくる		根拠法令、根拠計画等	図書館法、鳥取市立図書館の設置及び管理に関する条例
施策	2102	生涯学習の推進				
施策の目標	目標の種別		平成23年度	平成27年度	事業分類区分	ソフト(義務)
	ボランティア活動や地域の年中行事の実施回数		153回	140回	運営方法	直営
	尚徳大学及び鳥取市民大学の延参加者数		6,852人	8,500人	会計区分	一般会計
	市民1人あたりの年間図書貸出冊数		4冊	5冊		
予算	予算事業名	図書購入費			予算事業コード	01-09-04-09-08-01

## 2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民の利用に供するための図書館の蔵書
意図 (どのような状態にするために)	自らが生涯にわたって学び、自己実現を図るとともに、さまざまな課題についても自ら判断できるよう、さまざまな知識や情報を身近な拠点で容易に入手できるようにする。
手段 (どうするのか)	一般図書・児童図書・参考図書・郷土資料及び新聞・雑誌等の定期刊行物を購入し、整備する。 選書にあたっては、資料収集方針により図書館3館と中央公民館図書室6室でバランスのとれた蔵書構成を図り、限られた財源を有効に活用する。また、市民のリクエストや現代的な課題に関する資料の充実に努める。

## 3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成23年度 一般図書・児童書・参考図書・郷土資料等を購入する。	平成24年度 一般図書・児童書・参考図書・郷土資料等を購入する。	平成25年度 一般図書・児童書・参考図書・郷土資料等を購入するとともに、貸出用の新規整備図書の利用状況を把握し、ニーズや効果を検証する。	平成26年度 一般図書・児童書・参考図書・郷土資料等を購入するとともに、貸出用の新規整備図書の利用状況を把握し、ニーズや効果を検証する。	平成27年度 一般図書・児童書・参考図書・郷土資料等を購入するとともに、貸出用の新規整備図書の利用状況を把握し、ニーズや効果を検証する。	
	年度別実績	一般図書・児童書・参考図書・郷土資料等を購入する。 21,587冊購入	一般図書・児童書・参考図書・郷土資料等を購入する	一般図書・児童書・参考図書・郷土資料等を購入するとともに、貸出用の新規整備図書の利用状況を把握し、ニーズや効果を検証した。	一般図書・児童書・参考図書・郷土資料等を購入するとともに、貸出用の新規整備図書の利用状況を把握した。		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	40,846	41,489	39,508	39,785	0	
	直接経費 A	38,597	39,261	37,322	37,528	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	38,597	39,261	37,322	37,528	0		
人件費 B	2,249	2,228	2,186	2,257	0		
職員数の内訳	正規職員	0.30	0.30	0.30	0.30	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

## 4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	新規購入図書年間貸出回数	指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
			目標	回		0	0	5	5.1	9
	実績			0	0	9.6	9.27	0		
(指標の説明) 新規購入図書貸出回数(年度内新規購入図書貸出累計÷新規購入図書冊数×2)										
2			目標			0	0	0	0	0
			実績			0	0	0	0	0
(指標の説明)										
3			目標			0	0	0	0	0
			実績			0	0	0	0	0
(指標の説明)										

5. 平成26年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 中央図書館 0857-27-5182</p> <p>【9次総の施策体系】 2102</p> <p>【予算計上の経過】 なし</p> <p>【事業の概要】</p> <p>① 図書の整備は、年間の新規整備冊数(新鮮度)が重要</p> <p>② 図書館3館及び中央公民館図書室6室の図書、視聴覚資料など全館で20,618冊の購入を行った。</p> <p>【事業の成果】</p> <p>① 新鮮で魅力のある図書を提供することができた。</p> <p>② 生涯学習施設として多くの市民に利用された。貸出冊数886,468冊(個人)</p> <p>③ ニーズや社会情勢を捉えながら選書したことにより、新規購入図書の貸出回数が目標を大きく上回った。</p> <p>④ 雑誌スポンサーの件数(6者、14誌、93,136円)が増えたことにより、雑誌の種類を充実させた。</p> <p>【今後の課題・方向性】</p> <p>① 社会情勢を捉えながら、多様な考え方や新しい情報を豊富に整備する。</p> <p>② 県立図書館や他の図書館と連携を図るとともに、電子情報や電子書籍の活用の検討をする必要がある。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
指標達成率	1	新規購入図書年間貸出回数			192%	182%	
	2						
	3						

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<b>目的の妥当性</b> <small>・市が関与すべき範囲か ・対象と意図は現行でよいか ・適切な目標が設定されているか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 妥当である <input type="checkbox"/> 2. ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> 3. あまり妥当ではない <input type="checkbox"/> 4. 妥当ではない	豊かな市民生活を送るためには、様々な知識や情報を安易に入手することが必要。市民が生涯にわたって学ぶためには、誰もが無料で利用できる公共図書館の維持継続が重要。
<b>事業の有効性</b> <small>・成果の向上につながっているか ・同じ目的をもつ他の事務事業はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 有効である <input type="checkbox"/> 2. やや有効である <input type="checkbox"/> 3. あまり有効でない <input type="checkbox"/> 4. 有効でない	新規購入した資料の年間利用回数は、9.27回転と、目標を大きく上回っている。
<b>資源投入の効率性</b> <small>・事業の実施手法は効率的か ・高い費用対効果が得られているか ・外部委託の可能性はないか</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 効率的である <input type="checkbox"/> 2. やや効率的である <input type="checkbox"/> 3. あまり効率的ではない <input type="checkbox"/> 4. 効率的ではない	図書館情報システムにより、各館の所蔵状況や発注状況がわかるため、必要に応じて購入せず相互貸借を行っている。また、搬送システムにより、どの図書館、図書室の資料でも、身近な拠点まで届くようになっている。
<b>サービスの公平性</b> <small>・対象は適切か ・受益者負担は適正か</small>	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 公平である <input type="checkbox"/> 2. やや公平である <input type="checkbox"/> 3. あまり公平ではない <input type="checkbox"/> 4. 公平ではない	図書館3館、中央公民館図書室6室、市立病院図書室及び移動図書館車5台を中心に、学校等とも連携をとりながら広範囲にサービス展開をしている。また、土日開館や祝日開館に努め、多くの市民が公平に利用できるように運営している。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<b>担当課長の評価コメント</b> <small>社会情勢を捉えながら、多様な考え方や新しい情報を豊富に整備する。 県立図書館や他の図書館との連携を図るとともに、電子情報や電子書籍の活用の検討をする必要がある。 雑誌スポンサー制度の利用を推進し、雑誌の予算を図書の購入予算に振り替え、蔵書を充実させていく。</small>		